

【第4次図書館基本計画】(案)

↓現計画の評価・課題を踏まえ、次期計画欄で選択した取り扱い(次期計画における方向性)

資料4

- ・黒字 現計画を継続するもの
- ・紫字 新たな取り組みや方向性
- ・青字 利用者アンケートの結果に基づく
- ・赤字 協議会委員からの意見に基づく
- ・緑字 議会一般質問に基づく

↓第3次図書館基本計画の「基本方針」にぶら下がる「具体的な取り組み(最下層)」への評価・課題
↓現計画の施策をどう取り扱うか

基本理念	現計画の評価・課題	次期計画	次期計画に必要な視点・方策
「くらしに役立ち 学びを支える 身近な図書館」	「くらしに役立ち 学びを支える 身近な図書館」を目指した図書館運営に努めた。	継続	「くらしに役立ち 学びを支える 身近な図書館」は継続しつつも、非来館型やデジタル化にも対応した新しい図書館のあるべき姿を意識した計画とする。 また、基本理念(中)として、 ・市民のくらしに役立つ図書館 ・市民の学びを支える図書館 ・市民にとって身近な図書館 も継続する。

基本方針	重点施策	取り組み項目	現計画の評価・課題	次期計画	次期計画に必要な視点・方策
必要な情報を知りたいに 確かな資料を提供する	計画的かつ効率的な資料の 収集と蔵書管理	図書館資料の収集・整理・保存・提供	<ul style="list-style-type: none"> ・「入間市立図書館資料収集基準」に基づき、図書館資料を計画的に収集した。 ・「入間市立図書館資料除籍基準」に基づき、定期的に適切な除籍を行い、限られた書架を有効活用した。 ・市の公共施設へのリサイクル本配布事業を再開し、除籍図書を有効活用した。 ・各館にリサイクルコーナーを設置し、除籍図書を有効活用した。 ・令和6年度にクラウドファンディング型ふるさと納税事業に取り組み、児童書をさらに充実させた。(寄付金額1,344,000円 購入冊数720冊) 【課題】 ・除籍できなかった分野もあるため、適切に除籍し、必要とされる情報を提供していく。 ・リサイクルコーナーを継続的に配置する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の基本任務は、「市民の知る自由を保障するため、資料を収集し、広く提供すること」であることから「収集方針」「除籍方針」は継続する。 ・「収集方針」「除籍方針」を基準にして、リサイクル事業も継続する。 ・地域の情報拠点としての図書館とする。 ・(アンケート結果)資料の量の充実、質の充実の要望が多いことから計画的な収集に努める。 ・(委員意見)「収集基準」第3条1項にあることから、新刊書の収集に努める。
		行政資料・郷土資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市及び近隣自治体で発行した資料を中心に収集することができた。 【課題】 ・郷土資料コーナーに入間市ゆかりの人物コーナーを設置するなどさらに充実させる。 ・地域での課題を把握し、解決の事例等を市民へ提供する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市のパーパス(カルチャーアクション)の視点からも郷土資料の収集は図書館の任務であることから、継続する。 ・入間市や近隣自治体、埼玉県等の行政・郷土資料は積極的に収集する。 ・入間市の特産物お茶や伝統工芸織物に関する資料は積極的に収集する。 ・「いるまこども郷土資料～どんなところ？ほくのまち～」の内容更新と、電子図書館への掲載により、さらなる活用を図る。 ・博物館業務と重複があるため、資料収集の役割について検討する。
		参考資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスに必要な参考図書を収集した。 【課題】 ・定期刊行物については、継続的に収集し、最新版を提供できるようにする。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・参考図書はレファレンスサービスに不可欠であることから収集を継続する。 ・図書のみならず、ヨミダス等のデータベースも収集の対象とする。
		新聞、雑誌の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・入間市立図書館雑誌スポンサー制度を活用し、寄贈雑誌を充実させた。 【課題】 ・雑誌や新聞の休刊・廃刊が増加しているため、代替資料について検討する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌スポンサー制度は財源確保として有効であるため継続する。 ・雑誌は、紙ベースが廃刊になり、デジタル化するものが多いことから、電子図書館での雑誌購読についても研究する。 ・(アンケート結果)館内で新聞・雑誌を閲覧する方の割合が多いため、新聞・雑誌の収集は継続する。
		視聴覚資料の収集	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽や映像を視聴する手段が多様化しているため、CD・DVDの購入を見合わせている。 【課題】 ・ビデオテープやカセットテープについては、劣化しているため、貸出サービスの中止について検討する。 	方針変更	<ul style="list-style-type: none"> ・CD・DVDの購入を廃止し、あらたな提供方法(定額制音楽配信サービス等)について研究する。 ・オーディオブックの導入について検討する。 ・西武分館視聴覚ライブラリーについて、より有効的な活用方法を検討する。

<p>学びの拠点となる図書館サービスの提供と充実</p>	レファレンスサービス体制の充実と提供	<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵資料のほか、県立図書館や国立国会図書館をはじめ、類縁機関等の資料により、利用者の求めに応じた。 ・資料検索データベース(読売新聞データベース等)を活用し、レファレンスサービスを充実させた。 ・県主催の研修会へ参加することにより、職員のレファレンス能力向上に努めた。 【課題】 ・職員のレファレンス能力向上のため、引き続き研修を受講する。 ・レファレンスをメールで受け付けるなど、サービスの充実を図る必要がある。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスは、市民の学びを支えるために図書館にとって不可欠なサービスであるため、継続する。 ・レファレンスに有効なデータベース(朝日新聞クロスサーチ等)の導入について検討する。 ・職員のレファレンス能力向上に努める。 ・パスファインダー(知りたいことがあるとき、どのように資料を探したらよいかの手引き)を作成し、レファレンスサービスの向上に努める。 ・AIの活用について検討する。 ・オンラインレファレンスサービスについて検討する。 ・(委員意見)カウンターに「レファレンス窓口」を設置する。
	貸出・返却の新しいサービスや資料の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・Felica(フェリカ)での貸出が可能となった。 ・入間市立図書館公式LINEアカウントの開設により、利用者のニーズに合わせたサービスを展開した。 ・移動図書館車の利用状況等を踏まえ、巡回場所や日程の定期的な見直しを行った。 ・移動図書館車で定期巡回していない小・中学校に特別訪問したり、青少年活動センターのフェスティバルに参加することにより、サービスの拡充を図った。 【課題】 ・地区センター図書室との連携について検討する。 ・移動図書館車の新たな巡回場所を検討する。 ・移動図書館車の付加価値(おはなし会実施等)を検討する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・一方で、図書館の新たなサービスの動向として、「非来館型」「デジタル化」が進んでいることから、「本の貸出にとどまらないサービス提供施設」への移行についても研究する。 ・有料宅配サービスについて、利用拡大を図る。 ・(アンケート結果)移動図書館車については、図書館から離れた場所の市民にとっては有効な貸出・返却場所であるが、車両の老朽化や費用対効果の面から、運行について検討する。 ・(アンケート結果)図書館以外での返却及び予約資料受け取り場所(地区センターや駅など)について検討する。 ・(委員意見)図書館に所蔵がない資料については、県立図書館及び県内図書館や国立国会図書館との相互貸借制度により提供する。 ・(委員意見)自動貸し出し機について研究する。
	電子図書館サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策対応地方創生臨時交付金を活用した電子図書館拡充事業により、電子図書を充実させた。 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを開始した。 【課題】 ・電子図書を充実させる。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・電子図書館については、いつでもどこでも利用可能等のメリットがあるため、継続する。 ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの利用促進を図る。 ・(アンケート結果)いるまし電子図書館について、知らない市民が多いことから、利用促進を図る。
	テーマ本の展示や利用促進事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題や季節に対応したテーマ本の展示をすることができた。特に市関係部署と連携して「認知症」、「児童虐待」等の課題に合わせて実施することができた。 【課題】 ・図書館独自のテーマを設定し、展示や貸出を行う。 ・現在の利用者は高齢者と親子連れが多いため、中間層の掘り起こしを行う。 ・SDGS(環境問題含む)関連資料の充実を図る。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ本の展示は、利用者に知らなかった本を紹介するのに有効であることから継続する。 ・「SDGS未来都市入間市」の観点からも、特にSDGS(環境問題含む)関連資料については、更新を行い、充実を図る。 ・(アンケート結果)成人や高齢者向けの講座等の利用促進事業の充実を図る。
	情報発信、広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページのほか入間市公式SNSで事業やお知らせの配信をすることができた。 【課題】 ・図書館だよりは紙媒体でも継続発行する。 ・入間市立図書館公式LINEの利便性について、さらなる周知を図る。 ・講演会開催や地域の子育て・環境・福祉活動グループ、関連部署と連携し、学びの拠点となることを目指す。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用促進のために情報発信は不可欠なため、継続する。 ・図書館公式SNS(Xやフェイスブック)の運営について研究する。 ・入間市公式SNSの活用を図る。 ・図書館だよりの紙媒体での発行について、検討する。(発行部数等)

<p>読書を通じて、子どもの健やかな成長に寄り添う</p>	<p>次世代を担う子どもの読書活動推進</p>	<p>子どもの読書活動の推進</p> <p>*「子どもの読書活動の推進に関する法律」の観点からも重要なため、一つの項目とした</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児が本に親しむ機会を充実させるため、赤ちゃん絵本コーナーの充実を図った。 ・コロナ禍で中止していた「赤ちゃん向けおはなし会」を再開した。 ・定期的なおはなし会や「ブックスタート」関連事業を開催した。 ・本の読み手と聞き手が同時に読書を楽しむ共有体験をしたり、子どもが本のつきあい方を学んだりすることのできる読み聞かせを通じて、読書活動を推進した。 ・読み聞かせボランティアと連携したおはなし会を開催し、親子のコミュニケーションや子育て支援の場を提供した。 ・小中学校に団体貸出や配本サービスを行うことで、学校図書館を支援した。 ・保育所や学童保育室、放課後子ども教室等に団体貸出や配本サービスを行い、他の施設等と連携した読書活動を推進した。 ・小学2年生を対象とした「図書館利用教室」、小学3年生を対象とした「図書館施設見学」を実施し、図書館をより知ってもらう機会をつくった。 ・図書館が薦める児童書を紹介したブックリスト「あれこれブックガイド」を発行し、市内小中学校の全児童、全生徒に配信し、読書活動を推進した。 ・「入間市公式広報ツール」すぐーやLINEを活用し、「あれこれブックガイド」や図書館の情報を児童・生徒に配信した。 ・中学生社会体験チャレンジ事業やひばり教室（適応指導教室）の社会体験の受け入れ事業等を行い、社会体験を支援することで、より図書館を身近に感じてもらうことができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配本サービスのさらなる充実を図る。 ・おはなし会の開催日程（日時、回数等）を検討する。 ・赤ちゃんタイムを設け、充実させる。 ・図書館利用教室、図書館見学へ全校が参加できるよう、時期や来館方法について検討する。 ・「入間市 図書館を使った調べる学習コンクール」へのさらなる参加を目指す。 ・小・中・高と学年が上がるごとに図書館利用率が下がり、特に高校生の利用率の減少が顕著なため、ティーンズコーナーとイベントの充実を図る。 	<p>継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの読書活動の推進」については、「子どもの読書活動の推進に関する法律」により、施策を策定し、実施することが定められていることから継続する。 ・子どもの読書活動推進計画について、アンケート結果も参考にしながら第3次基本計画より充実した内容のものを作成する。また、学校図書館とも連携を図り、内容に取り入れる。 ・「こどもまんなか社会」の取り組みを意識した事業を実施する。（地域における読書活動支援としての読み聞かせ出前講座の実施等） ・学校と連携した読書活動推進を行う。（移動図書館車の巡回、利用教室、図書館見学、配本サービス、調べる学習コンクール等） <p>（委員意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校へのサービスを分ける。 （委員意見） ・小中学校の配信サービス「すぐー」や入間市公式LINEを活用した情報配信。 （委員意見） ・高等学校への配本サービスについて検討する。 （委員意見） ・高校図書館との連携強化。 <p>（一般質問）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボードゲーム等新しい文化的教材の導入について研究する。
<p>誰もが便利に使える図書館へ</p>	<p>誰もが利用しやすい図書館サービスの提供と充実</p>	<p>障害のある方にも利用しやすいサービスの提供</p> <p>高齢者にも利用しやすいサービスの提供</p> <p>多文化サービスの充実</p> <p>居場所としての図書館環境の充実</p> <p>*図書館の環境整備からこちらへ移動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー図書やリーディングトラッカーを備えた「りんごの棚」を設置した。 ・誰もが読みやすいLLブックの充実を図った。 ・視覚障害者に対して、朗読ボランティアと連携し、デジター図書の作製や貸出しを行った。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害者だけではなく、身体障害者や知的障害者に対してのサービスについても検討する。 <p>・大活字本の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語で書かれた日本語多読図書の充実を図った。 ・外国語資料の収集に努めた。 <p>・館内の指定場所での水分補給をできるようにした。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閲覧席、スペースの拡充について検討する。 	<p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p> <p>継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年に「読書バリアフリー法」が施行され、障害の有無にかかわらずすべての国民が等しく読書を楽しめることとされていることから継続する。 ・これを推進するために、「りんごの棚」の充実を図る。 ・視覚障害者のみならず、ディスレクシアや認知症、知的障害者等に対する読書支援についても研究する。 <ul style="list-style-type: none"> ・大活字本の充実を図る。 ・高齢者には情報弱者（デジタルに弱い）が多いことから、図書館ホームページや公式LINEの利用方法の講座等を行うことにより、利用促進を図る。 ・（アンケート結果）高齢者の利用が多いため、継続する。 （委員意見） ・多種多様な学びの支援。 （委員意見） ・声をかけやすい窓口の設置。 <ul style="list-style-type: none"> ・入間市では、日本語を母国後としない市民が増加している（令和8年1月1日現在3,648人）ことから、多文化サービスについて継続する。 ・やさしい日本語で書かれた資料の収集に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の機能として「非来館型サービス」の重要性が目立っている一方で、居場所としての図書館も求められていることから、環境の充実を継続する。 ・本館夜間閲覧席開放事業の継続について検討する。 ・（アンケート結果）飲食が可能なくつろげるスペースや学習スペースの充実の要望が多かったことから、研究する。 （委員意見） ・（土）（日）の開館時間の延長について研究する。

地域社会と連携し、心地よい時間と空間を育む 効率的な運営で安心を届ける	図書館の環境整備と効率的な運営	本館と分館の運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・分館については、指定管理者により、様々な自主事業等を実施することで、民間のノウハウを生かした効率的な運営をしている。 ・本館と分館で、各種調整会議を通じて情報共有を図るとともに、図書館運営方針の徹底を図った。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・全館で差異のないサービスを行うため、運営体制の強化を継続する。 ・市と指定管理者との連絡調整。 ・指定管理者のノウハウを活かした運営を図る。
		図書館システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> ・システム更新により、図書発注業務が効率化され、迅速に新刊図書を利用者に提供できるようになった。 ・システム更新により、統計データを様々な条件から抽出できるようになり、多方面から分析が可能となった。 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・DXを推進し、サービスの向上を図る。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館システムの構築は、図書館運営に不可欠であることから継続する。 ・図書館システムのさらなる活用を図る。(公式LINEアカウントの活用やメールマガジンの登録など)
		本館及び分館の施設の修繕や整備、管理	<ul style="list-style-type: none"> ・西武分館の空調設備については、全系統改修工事が完了した。金子分館についても、空調設備を改修した。 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン、バリアフリー(資料、施設・設備)を推進する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・本館及び分館の施設が老朽化が進んでいるため、修繕や整備を継続する。 ・本館施設については、市地域振興課と連携を図り、更新を進める。 ・西武分館については、書庫の空調修繕やLED化等が課題。
		安心して利用できる環境の整備	【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン、バリアフリー(資料、施設・設備)を推進する。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化により、使用しにくい面もあるが、ユニバーサルデザイン等を取り入れ、明るく安心できる館内整備に努める。 ・(アンケート結果)子どもや高齢者が安心して、利用しやすい図書館が求められていることから、環境の整備は継続する。
	地域づくりと他機関との連携	ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアグループを対象に読み聞かせ研修会を開催し、さらなる活動の推進を図った。 ・コロナ禍で中止または縮小していた「冬のおたのしみ会」を再開し、ボランティア活動の場を提供した。 ・宮寺配本所の充実を図るため、定期的におはなし会を行った。 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせボランティア養成講座を開催し、ボランティアの育成を図る。 ・中学生、高校生のボランティア活動の場を設ける。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度には、読み聞かせボランティア養成講座を実施していることから、ボランティア活動の推進について継続する。 ・ボランティアの新規入会者の増加を図るとともに、研修会や定例会を通じて、その支援をする。 ・読み聞かせボランティアのみならず、配架や修理のボランティアについても検討する。 (委員意見)・大学生ボランティアの活用
		他自治体や地域、機関との連携や協力	<ul style="list-style-type: none"> ・入間地区公共図書館協議会や西部地域まちづくり協議会(ダイヤプラン5市)で連携会議を行い、共通の課題について協議した。 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・庁内各部署とさらに連携し、市民に様々なサービスの提供を図る。 	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は、ダイヤプランや入間地区公共図書館協議会と連携していることから、連携を継続する。 ・そのほか、庁内他部署や公共施設と連携し、事業や展示本を行うことで、市民の課題解決やサービスの提供を図る。